

# 美楽舎

B i G a K u S Y a  
News letter

No. 346

会報 第 346 号 (令和 2 年 8 月発行)

東京都中央区銀座 1-13-4 大和銀座一ビル6F  
K's Gallery 内

Tel:03-5159-0809 Fax:03-5579-9004

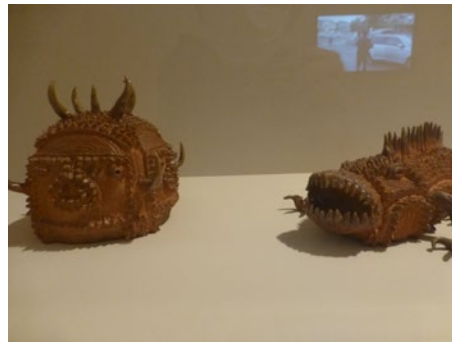
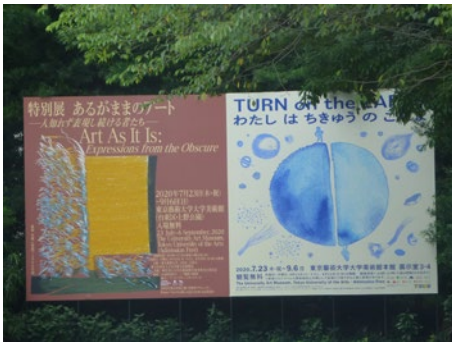
Mail:kgallery@eagle.ocn.ne.jp HP:http://bigakusya.com

## 第 370 回 (7 月) 例会

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、中止となりました。

## 某日月誌

ぼうじつげっし



○**新コロ**の件よりも酷暑、猛暑で外出もままならない連日となった、やっと雨が降り、山場は過ぎたようだ。美術展の予約はスマホ画面のバーコードを読み込み入場する、自分はスマホを持っていないので、返信メールのPC画面を撮り、入口でバーコードを見せて読み込んでもらうが、問題なく入場出来る。古書会館の古本展には初日ではなく2日目に行っている、名前、携帯番号などを書いてから、消毒とマスクをする。番号は毎回手帳を見て書くのでめんどくさい—その内に覚えるだろう。陳列棚を少なくしてるし、客も20人位だし、ゆったりとした気持ちで本を手に取り見ることが出来る。新コロの政府対策については、今回のGOTOトラベルから東京を外した事が1番良かった、含めていたら感染者数がとんでもない数値になっていただろう。

○7月某日:「あるがままのアート」「わたしはちきゅうのこだま」藝大美へ、「あるが」の方は日美で特集されたの

で見たが、渡邊義紘の動物は折り紙でなくて枯葉で折ってたのか、気がついてなかった、因みにこの折り葉は販売していたが買わず、関係本が何冊もあり3冊選んで買った。アール・ブリュットの人達25人の作品展だが、チラシ、パンフ(こちらは会場には置いてなくて、1階のチラシ棚にあった、出口からは外へ出てしまったので、入口へ戻りチラシが欲しいのでと中に入れてもらった。)にはその名称はなかった、日美ではその名称とアウトサイダー・アートと説明されていたのだが。2人以外は撮影OK、自分は澤田真一の焼物作品(6本脚の鰐)を持っているので、他の作品を何枚も撮った。「わたしは」の方はビニール透明シートでブースが仕切られていた、今思うと新コロ対策のパロディか、大きくした切り絵(神社仏閣の飾り)が良かった。両方共予約制だが無料なので、以外に入場者が多かった。

○8月某日:「The UK IYO - E 2020」(7月23日~9月22日)都美へ、出品リストはなかったが、図録を